

2013大学入試センター研究開発部シンポジウム

入試研究から見た高大接続
—多様化する大学入試にせまる—

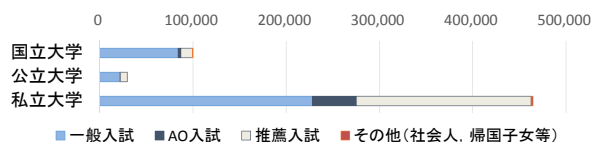
椎名久美子(大学入試センター 研究開発部)

「多様化する大学入試にせまる」

大学入試センター試験(H25年度)

- 志願者 573,344人
(うち高校卒業見込者 459,866人)(現役志願率42.1%)
- 受験者543,271人

国公立大学入学者数 594,358人(H24年度)



- 多様な入試の枠組みの中で、センター試験がどのように機能しているのか？
- 入試データの分析に携わる研究者の視点からの材料

センター試験志願者数について

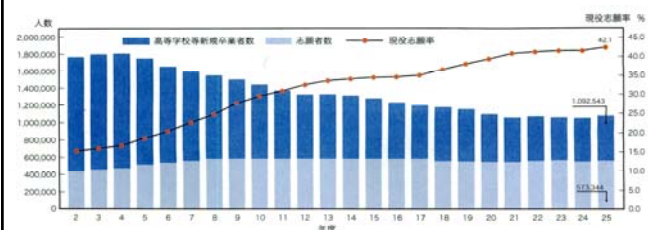


図1: センター試験の志願者数及び現役志願率の推移(要覧, p.19)

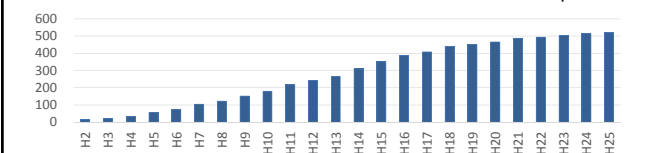


図2: センター試験参加私立大学数の推移

入試区分別の入学者数の推移(H11~H24年度)

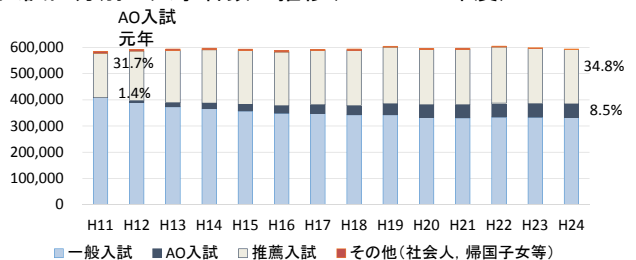


図3: 入試区分別の大学入学者数(国公立大学)

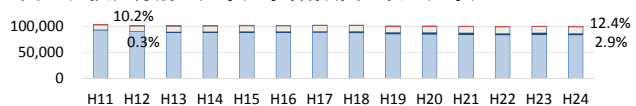
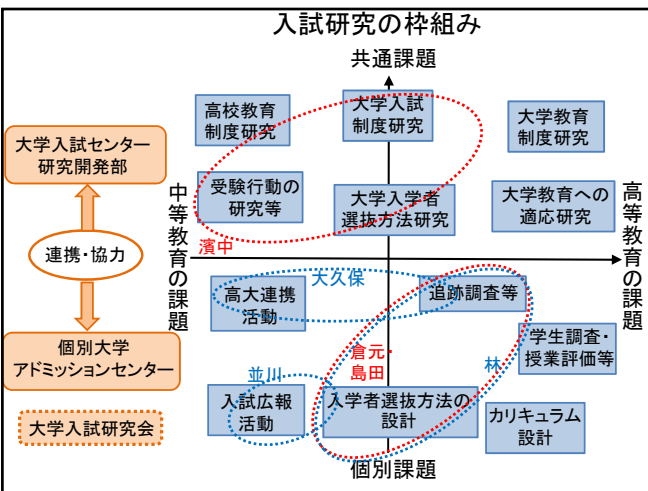


図4: 入試区分別の大学入学者数(国立大学)

「国公立大学入学者選抜実施状況」(文部科学省)に基づいて作成



シンポジウムの進行

基調講演

- 高校一年次の勉強時間(大学入試センター, 濱中淳子)
 - 受験生から見た「多様化」の意義(東北大学, 倉元直樹)
 - 入学者は多様化したか(筑波大学, 島田康行)
- 指定討論(北海道室蘭栄高等学校教諭・進路指導部長, 工藤弘一)

休憩(15:15~15:30)

コメントペーパーは、休憩中にスタッフにお渡しください。

入試研究事例紹介

- 並川努(新潟大学), 大久保貢(福井大学), 林篤裕(九州大学)

質疑と全体討論 ← コメントペーパーをもとに

アンケートへのご協力をお願いいたします。(お帰りの際にスタッフへ)